

用語	意味	備考(大杉コメント)	本委員会結果	検討経緯
1 刑務所と拘置所の区別	<p>「刑務所」…法律に違反した犯罪者が裁判の結果「有罪」となり、実刑判決(懲役刑や禁固刑など)を言い渡された場合に収容される、国立の刑事施設になります。 (参考) 少年院は、少年の更生を目的とし、矯正教育を受けさせることを主とした更生施設となりますが、刑務所は罪の償いを行うべき場所であり、それが前提で運営されています。</p> <p>刑を執行する場所、すなわち刑罰を受けるところです。 しかしながら、受刑者の更生をさせるための更生プログラムも組まれており、出所後に再犯を起こさないよう様々な取り組みが行われています。 「受刑者の更生および健全な社会復帰」も刑務所の大きな目的の1つで、刑罰を受けさせたためだけでなく、矯正施設としての役割も担っています。 (刑務所net. より)</p> <p>逮捕・勾留された被疑者・被告人は、警察の留置場、又は、拘置所に留置される。</p> <p>留置場とは、未決拘禁者(被疑者・被告人)を収容する各都道府県警察内に設置された留置施設のこと。(刑事収容施設及び被収容者等の遇遇に関する法律14条1項)。(警察の留置場は、各都道府県警察内全国で約1300か所)にある。</p> <p>これに対し、拘置所とは主として未決拘禁者(被疑者・被告人)を収容する法務省の施設機関のこと。なお、拘置所には、死刑確定囚等も収容されている。(全国に8か所(ただし、別に拘置支所もあります)、東京には、東京拘置所(東京都葛飾区小菅)、立川拘置所(東京都立川市泉町)の2か所がある)</p> <p>留置場と拘置所は、被疑者・被告人が勾留される場所であることは共通だが、留置場が警察署の管理下にあるのに対し、拘置所は、法務省の管理下にある点で違う。 (川合晋太郎法律事務所HPより)</p>	既存手話の再検討をお願いいたします。	<p>△ 捕まる・拘束B&gt; ○ 保存手話</p> <p>△ 留置場B&gt; ● 組み合わせ</p> <p>△ 拘置所&gt; ● 組み合わせ</p> <p>△ 刑務所&gt; △ 変更なし</p>	<p>「留置場」「拘置所」「刑務所」は、「わたしたちの手話(2)」44~45ページに掲載されてから随分経つので、表現を再検討した。 まずは、&lt;刑務所&gt;の2動作目に単独ラベルを付けることにして。 △ 捕まる・拘束B&gt; ⇒&lt;東博・制約&gt;を前に出す</p> <p>「留置場」…逮捕・拘留された被疑者を留置する場所のことと、警察の管理下にある。 『学Ⅱ』191頁の表現の方が合うのではないか。</p> <p>「拘置所」…逮捕・拘留された被疑者の刑が確定するまで留置する場所のこと。</p> <p>△ 留置場B&gt; ⇒&lt;警察&gt;+&lt;勾留(拘束)・抑留&gt;+&lt;場所&gt;</p> <p>△ 拘置所&gt; ⇒&lt;捕まる・拘束B&gt;+&lt;場所&gt;</p> <p>&lt;刑務所&gt;は、捕まるだけでなく、働く場所でもあるのではとの意見も出されたが、既に馴染みがあることから変更なしに。 (&lt;刑&gt;+&lt;捕まる・拘束B&gt;+&lt;場所&gt;)</p>
2 診断	<p>「診断書」「健康診断」はあるが「耐震診断」も同表現？</p> <p>「耐震診断」… 既存の建築物で旧耐震基準で設計され耐震性能を保有していない建物を、現行の構造基準(新耐震基準)で耐震性の有無を確認することです。 また、新耐震基準で建てられた建物に於いても劣化等が懸念される場合は耐震診断をされる事をお勧め。</p> <p>平成28年4月に発生した熊本地震は、平成7年に発生した阪神・淡路大震災と同様に多くの建物が倒壊もしくは一部損壊した。熊本地震では特に古い(旧耐震基準で建てられた)瓦屋根の木造家屋が大きな被害を受けた。</p> <p>非木造の建物(RC造・SRC造)についてですが、1次診断では柱や壁の断面積から耐震性を確認。2次診断ではさらに鉄筋の影響も考慮して耐震性を求める。 (一般財団法人 日本耐震診断協会)</p>	<p>「診断」は、 1 医者が患者を診察して、健康状態、病気の種類や病状などを判断すること。「診断を下す」「インフルエンザと診断する」「健康診断」 2 物事の実情を調べて、その適正や欠陥の有無などを判断すること。「経営診断」「耐震診断」</p>	△ ラベルの追加	<p>「診断」は、医療関係だけでなく、「耐震診断」「経営診断」などでも使うが、同じ表現でいいかどうかを検討した。 ⇒&lt;診療&gt;&lt;診察&gt;と同じ</p> <p>一級建築士の委員より、家の診断であっても今のままで問題ないと意見がでたことから話がまとった。</p>
3 トリアージ (triage)	<p>医療資源(医療スタッフや医薬品等)が制約される中で、一人でも多くの傷病者に対して最善の治療を行うため、傷病者の緊急度に応じて、搬送や治療の優先順位を決める。</p> <p>赤色…生命的の危機的状態で、直ちに治療しないと死に至る状態。 黄色…2時間から3時間なら治療を遅らせても状態が悪化しない状態であり、静脈路を確保し厳重な監視下におく。 緑色…最後に治療を行っても生命予後・機能予後に影響を及ぼさない状態であり、治療は他所に回すことが可能。 黒色…治療を行っても生存の可能性のない状態。 (神奈川県HPより)</p>	コロナ禍の今後により必要になる可能性があります。なんとしても確定をお願いいたします。	○ 合成	<p>トリアージは、以前「全国ろうあ者大会」研究分科会で行われた「創作手話コンテスト」の課題に出され、後日、本委員会にて検討するも保留のままでなっていました。 傷病者の緊急度に応じて、搬送や治療の優先順位を決めるイメージを、今ある手話を使って表現できないか検討。 ⇒左手&lt;四&gt;で&lt;治療・セラピー&gt;の動作+左手そのままで、右手&lt;優先B&gt;</p> <p>トリアージは4段階に“分ける”という行為のため、&lt;治療&gt;+”4本指に分けている動作”的案もだされたが、&lt;優先&gt;で採用に。</p>
4 人工呼吸器	<p>自分で呼吸できないときに、替わりに肺に酸素を送ってくれる医療機器です。簡単に言うと、口や鼻の穴からチューブを気管支まで入れて肺に空気や酸素を送り込む装置です。喉のところを切ってチューブを入れる場合もあります。送り込む空気も患者さんの状態によって酸素濃度が高いものに切り替わります。よくドラマなどで顔にマスクをしている患者が出てきますが、あれは酸素マスクです。人工呼吸器は酸素マスクとは違います。がつり喉の中にチューブ入っています。 (マッシュマロ タッチ プロブより)</p>	浅利研究員より	● 組み合わせ	<p>「人工呼吸器」は、自分で呼吸できないときに、替わりに肺に酸素を送ってくれる医療機器のこと。 口からチューブを通してような表現案も出たが、「胃ろう」と紛らわしいことから、漢字をもとにした、今ある手話を組み合わせた表現に。 ⇒&lt;人工&gt;+&lt;呼吸B&gt;(2回吸う)+&lt;機器(音韻)・稼働・工業・からくり&gt;</p>
5 体外式膜型人工肺 (ECMO)	<p>extracorporeal membrane oxygenationの略称(「体外式膜型人工肺」) ●人の肺の代わりに人工的に作られた人工肺によって酸素と二酸化炭素の交換(ガス交換)を行うのがエクモです。 ●エクモはガス交換をする人工肺(膜型人工肺)と、体内から血液を取り出し人工肺に血液を送り体内に送り戻す血液ポンプによって構成されます。 (一般社団法人 日本体外循環技術医学会PPより抜粋)</p> <p>新型コロナウイルスの流行により重症呼吸不全に対する「ECMO」はより重要となっています。肺炎などで呼吸不全となった場合、酸素投与からはじまり、改善なければ陽圧人工呼吸器管理へと、肺を酷使する治療法が行われます。 「ECMO」は肺が本来行うべき酸素化と二酸化炭素除去を代替し、肺が充分に休める状況を作り出します。それにより、陽圧人工呼吸や高濃度酸素による肺障害を回避しつつ、重症呼吸不全における治療時間を確保することができます。 (鳥取大学医学部HPより抜粋)</p>	浅利研究員より	● 組み合わせ	<p>「体外式膜型人工肺」は、人の肺の代わりになる人工肺と、体内から血液を取り出し人工肺に血液を送り体内に送り戻す血液ポンプによって構成される。 血液ポンプの動きのイメージを入れてはどうか検討。 ⇒&lt;肺&gt;+5指を折り曲げた両手を右斜め前で上下に向き合わせて置き右手を少し上下させる</p> <p>漢字をもとに表現するより、実際のイメージを表現した方が分かりやすかったことからそのまま採用。</p>